

「子宮頸がん JGOG1077S 調査研究」

一 好ましからざる転帰をとった子宮頸部微小浸潤扁平上皮癌の症例対照研究 一

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査の目的】

子宮頸部微小浸潤癌における臨床的意義を正確に反映する病理学的パラメーターを抽出し
子宮頸部微小浸潤癌の病理学的診断基準を再検討する。

【対象】

1997年から2010年に初回治療として手術療法が行われ、好ましからざる臨床事項を有する
子宮頸部扁平上皮癌 I A 期症例と対照症例を集積する。

【調査項目】

術前所見：治療開始時患者背景、術前病理組織診断

手術所見：手術年月日、術式、術後治療有無、術後分類、病理組織診断、病理所見

予後：再発の判定、初回再発部位、最終生存確認日と死亡日

【調査期間】

2016年1月1日から2017年12月31日

【研究機関・組織】

特定非営利活動法人 婦人科悪性腫瘍研究機構 (JGOG) 子宮頸がん委員会

【代表者連絡先】

愛媛大学医学部産婦人科学／松元 隆